

教科 科目 単位数	外国語 英語コミュニケーションⅡ 4	受信校	北海道穂別高等学校	学科 学年（年次） 履修・実施	普通科 第二学年 必修・習熟度
教科書 副教材	「All Aboard! English CommunicationⅡ」（東京書籍） 「All Aboard! English CommunicationⅡ ワークブック」（東京書籍） 「データベース4500 完成英単語・熟語【5th Edition】」（桐原書店） 「Focus on Listening Pre-Standard」（エミル出版）				

1 目標

- (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
- (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

（高等学校学習指導要領（平成30年3月告示）より）

2 学習のポイント

- (1) オリエンテーション時に示す「授業のルール」を守り、積極的に言語活動に取り組んでください。
- (2) ワークシート等を多く配布します。配布物を整理するために、ファイル（A4サイズ）を必ず用意してください。
- (3) この科目では主に、英語で聞くこと、読むこと、話すこと、書くことに関わる学習を行います。コミュニケーション英語Ⅰで学習してきたことをさらに伸ばすことが目的となりますので、必ずこれまでの復習を大事にしてください。
- (4) 特に「話すこと」については、テーマに応じて即興で話す活動だけでなく、スピーチのような発表活動も多くなります。知識や表現の能力だけでなく、取り組みへの積極性も評価されますので、前向きに取り組んでください。

3 学習の評価

(1) 評価の観点とその主旨

次の3つの観点とその主旨に基づいて内容のまとめりとともに評価を行い、総括して学年末に5段階評価をします。

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
・英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	英語の背景にある文化に関する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

(2) 評価方法と観点との関連（◎＝特に関連の深いもの）

評価方法\観点	①	②	③	主な対象
ア 学習活動の観察	○	○	◎	言語活動への取り組み・振り返りシート等
イ ワークシート・小テスト	◎	◎	○	ワークシートへの取り組み状況、小テストの結果
ウ パフォーマンステスト	◎	◎	○	パフォーマンステスト
エ 定期テスト	◎	◎		定期テスト
割合（％）	1	1	1	

4 その他

＜遠隔授業について＞

- (1) 授業者は対面授業時を除き、基本的に配信校から授業をします。授業中の質問や疑問等については随時対応しますが、申し出にくい場合などについては、教室にいる受信担当の先生に申し出ても構いません。
- (2) 授業者が現地にいない分、皆さんの積極的な活動がより一層重要になります。メリハリをもって活動したり、わからないところを互いに教え合ったりすることは特に重要です。ぜひ、一緒に授業を「作っていく」つもりで参加してください。
- (3) 遠隔授業のため、音声の遅れや乱れが予想されます。これらの不都合を常に意識して柔軟に対応してください。
- (4) 遠隔授業では、Google Classroom などのクラウドサービスを活用します。利用におけるルールを遵守してください。
- (5) その他の遠隔授業の特性についてはオリエンテーション時に説明します。

＜学習の支援について＞

授業について、不安なことや気になること、配慮して欲しいことなどがあれば、可能な範囲で個別対応します。直接相談しにくい場合は、Classroom やワークシートに書いてもらっても構いません。

5 年間授業計画（計 140 時間）

月	○題材 ●主な教材	配当	【学習領域】 ・主な学習内容 □対面授業 ◇テスト等	目標・ねらい	観点ごとの 主な評価の対象 ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度
4 / 5 / 6	○オリエンテーション	1	・コミュニケーション英語Ⅱの学習について	・アンケートへの回答を通し、これまでの英語の学習を振り返り、コミュニケーション英語Ⅱの学習についての見通しをもつ。	①ペーパーテスト等の結果 ②パフォーマンステスト及び活動の観察の結果 ③自己評価（振り返りシートなどの記述内容）
	○ブラーノ島 ●Pre-Lesson ●Lesson 1	13	【話す/読む】 ・関係代名詞 what	・今年やってみたいことについて英語で述べることができる。 ・海外で行ってみたい場所について英語で述べることができる。	
	○サムのリクエスト ●Lesson 2	13	【話す/聞く】 ・比較表現	・世代を超えて人気のある人物について英語で述べるができる。	
	●Communication 1 ●Word Box 1	2	【話す/聞く】 ・病院で診察 ・Feelings and Emotions □対面授業① ◇パフォーマンステスト	・病院で診察を受ける場面においてよく使われる表現を用い、対話をする。 ・感覚や感情を表す単語や表現を学習する。	
	前期中間考査（実施の場合）	1	◇考査	・学習内容の定着状況を確認する。	
7 / 8 / 9	○ワイルドマンの世界 ●Lesson 3	12	【書く/読む】 ・it の用法	・身近な行事について、英語で紹介することができる。	①ペーパーテスト等の結果 ②パフォーマンステスト及び活動の観察の結果 ③自己評価（振り返りシートなどの記述内容）
	○ホテルにチェックイン ●Let's Listen 1	1	【聞く】 ・ホテルにチェックイン	・ホテルにチェックインする場面の対話を聞き、よく使われる表現や対話の概要を理解する。	
	○ハチドリのはずく ●Lesson 4	13	【話す/聞く】 ・間接疑問文	・自分の好きな物語を英語で紹介することができる。	
	○歌舞伎メイクの物語 ●Lesson 5	13	【書く/読む】 ・to 不定詞を含む表現	・日本の伝統文化について、表現を工夫して、相手に効果的に伝えるように書く。	
	前期期末考査（実施の場合）	1	◇考査	・学習内容の定着状況を確認する。	

令和6年度 遠隔授業配信シラバス（2年）

10 / 11	○世界自然遺産 ●Let's Listen 2	1	【聞く】 ・世界自然遺産	・日本の世界自然遺産についてのスミス先生の説明を聞き、概要を理解する。	①ペーパーテスト等の結果 ②パフォーマンステスト及び活動の観察の結果 ③自己評価（振り返りシートなどの記述内容）
	○伝統野菜を未来につなぐ ●Lesson 6	12	【話す/読む】 ・動詞の目的語になるif節	・地元で有名な場所やものについて、英語で説明することができる。	
	○Mujina ●Reading 1	2	【読む】 ・江戸時代の怪談	・英語で書かれたMujinaの内容を読み取り、理解する。	
	○プレゼンテーション	3	【話す/聞く】 ・プレゼンテーション <u>□対面授業②</u> <u>◇パフォーマンステスト</u>	・これまでの既習事項を参考に、英語でプレゼンテーションを行う。	
	○アートで世界をつなぐ ●Lesson 7	12	【書く/読む】 関係副詞	・世界の人々と交流する方法について、英語で述べることができる。	
	後期中間考査（実施の場合）	1	<u>◇考査</u>	・学習内容の定着状況を確認する。	
12 / 1 / 2	○入国審査 ●Communication 2	1	【話す/聞く】 ・入国審査	・空港での入国審査の場面においてよく使われる表現を用いて、英語で対話する。	①ペーパーテスト等の結果 ②パフォーマンステスト及び活動の観察の結果 ③自己評価（振り返りシートなどの記述内容）
	○自然のデザインに学ぶ ●Lesson 8	10	【書く/読む】 ・知覚動詞	・自然界のデザインをヒントにした製品について、英語で発表できる。	
	○ロンドンの地下鉄 ●Getting the Necessary Information	1	【話す/読む】 ・ロンドンの地下鉄	・ロンドンの地下鉄路線図を見て、必要な情報を素早く的確に読み取る。	
	○甘いチョコレートの苦い現実 ●Lesson 9	9	【話す/読む】 ・使役動詞	・社会的な問題について、英語で意見を述べることができる。	
	●Word Box 2	1	【話す/書く】 ・A day in English Part 1	・1日の生活を英語で述べることができる。	
	○ナイチンゲール ●Lesson 10	10	【話す/聞く】 ・分詞構文	・人を助ける職業について、英語で説明することができる。	
3	学年末考査（実施の場合）	1	<u>◇考査</u>	・学習内容の定着状況を確認する。	①ペーパーテスト等の結果 ②パフォーマンステスト及び活動の観察の結果 ③自己評価（振り返りシートなどの記述内容）
	●Word Box 3・4・5	3	【話す・書く】 ・The body and clothes ・Various Jobs ・A Day in English Part 2	・体や衣服について英語で述べる ことができる。 ・さまざまな職業について英語で 述べる ことができる。 ・1日の生活を英語で述べる ことができる。	
	○Bear's Pie ●Reading 2	3	【読む】 ・まとまった文章を速読したり精読することなど目的に応じた読み方をする	・まとまった文章を登場人物の経験や心情を考えながら精読する。	